

キモチいいですかお兄さん？【#001】  
～無知なサキュバスが搾精してくれる～

■ 0 0 …登場人物

■ 淫魔少女イリス

ー 名前…イリス

ー 設定…性的な知識の乏しい淫魔の少女（未通）

ー 外見…長い銀髪に紅い瞳、胸は薄い。

ー 性格…大人しく内気だが、心を許した相手には甘える。

ー 口調…わたし、です、ます、でしょうか、ですか？

ー 呼方…お兄さん

■ 0 1 …はじめてのご奉仕【手コキ&フェラ】

気が付くと小さい淫魔の少女に魔法で捕えられており、  
少女の手と口による拙い奉仕で射精させられてしまう。

「イリス」

iiris\_0001

「あ、お兄さん、気が付きました？ ああつ、そんなに暴れたら危ないですよ！ ええ、そうです、わたしがお兄さんをベッドに拘束しました。ごめんなさい」

「イリス」

iiris\_0002

「え？ わたしは誰か、ですか？ どうしてこんなことするのか、ですか？ それはですねえ……実はわたし、サキュバス、なんです。淫魔、ともいいますね」

「イリス」

iiris\_0003

「淫らな、悪魔……そう、わたしたちサキュバスは、人間の雄の精液をゴハンにする悪魔なんです」

【イリス】

iris\_0004

「だからですね、わたし、お兄さんと、えっちなことしちゃいますね？  
精液、たっくさん出してもらいますから、覚悟、してくださいね？」

【イリス】

iris\_0005

「でもですね、わたし、見ての通りですから、えっちするの、初めて、  
んです……。いたらないところがあつたらごめんなさい」

【イリス】

iris\_0006

「え？ 何でお兄さんを選んだのか、ですか？ だって、道で見かけたお  
兄さん、優しそうでしたから……。怖い人と言っちなことするより……  
お兄さんみたいに優しそうな人のほうがいいです」

【イリス】

iris\_0007

「え？ 人間はみんな怖いもの、ですか？ ふふ、そうでしょうか？ ま  
あ、いいです。そろそろ始めますね？」

【イリス】

iris\_0008

「それじゃあ、まずはお兄さんのおちんちさん、見せてもらいますね？  
えっと、確かズボンの中に……。うんしょ、うんしょ……。あ、これか  
な？ おちんちさん、はじめまして」

【イリス】

iris\_0009

「う、ん……。へにやへにやですね。話によると、えっちな気持ちになる  
と、固くなるんですね？ まだ、えっちな気分になってないで  
すか？」

【イリス】

iris\_0010

「そうですね。人間の雄は、おっきなおっぱいを見てえっちな気分にな  
るんですよ？ やっぱりわたしのちっちゃなおっぱいじゃダメなんで  
しょうか……。？」

【イリス】

iris\_0011

「あ、そういえば、おちんちさん、ナデナデされるとキモチよくなっ  
て、えっちな気分になるんですたっけ？ やってみますね？」

「イリス」

iris\_0012

「ナデナデ、ナデナデ……。おちんちさん、いい子いい子……。あ、ぴくって動きました。ほあ……。むくむくって大きくなって、熱くなつて……ほああ」

「イリス」

iris\_0013

「うわあ、お兄さんのおちんちさん、わたしのちっちゃなお手てじゃ包めないくらいに膨らんで……。さつきまで、へにやへにやだったのに、カチンコチンになっちゃいました……」

「イリス」

iris\_0014

「もーっとナデナデしちゃいますね……。うんしょ、うんしょ……。どうですかあ？ キモチいいですかあ？」

「イリス」

iris\_0015

「うんしょ、うんしょ……。ああ、おちんちさん、なんかポカポカしてきましたあ……」

「イリス」

iris\_0016

「ん……。ああ、おちんちさん、ぴくん、ぴくんって震えてます……。キモチいいんですね？ 感じてるんですね？」

「イリス」

iris\_0017

「お兄ちゃんのおちんちさん、どんどん大きく、固くなって、びくびく震えて、ふああ、なんかぼわーんって、えっちな匂いがしてきましたあ……」

「イリス」

iris\_0018

「はあ、んはあ……。あ、こうして、お手で包んで、上下(うえした)に」スるのがいいんですかあ……。？ んふ、あ、おちんちんのくびれたところ、くりくりされるのも好きですかあ？」

「イリス」

iris\_0019

「よいしょ、よいしょ……。あぶう、おちんちさんの先っちょ、ぬるぬるしてきましたよ……。？ もしかして、これが精液ですかあ？」

【イリス】

iris\_0020

「でも、こんなんじゃないですね。もっともーつと出してください、お兄さん！ それ、それ、それえ……！」

【イリス】

iris\_0021

「はあ、はあ、お兄さん、お顔とろろんってして、すぐキモチよさそう……おちんちさんの、びくびく、激しくなって、先っちょのぬるぬるも、お手でベトベトするくらゐ……」

【イリス】

iris\_0022

「ああん、この感触、いいよ……。もっと、もっと精液、出してお兄さん！ もっと、もっと。ああ、匂い、すごい！ はっ、はあっ……！」

【イリス】

iris\_0023

「ああ！ どんどん、おちんちさん熱くなつて！ びくびく、どくどくって、脈打って……！ ああん！ お兄さんの、どきどき、おちんちさんを通して伝わってくるの！ いい！ しこしこするの、止められないですっっ！」

【イリス】

iris\_0024

「お兄さん！ お兄さん！ 出して出して出して！ どんどん出して、わたしに、お兄さんの精液、くださいいいっ！ んしょっ、んしょ、えいっ、えいっ、やあっー！」

(S.E:びゅーしゃああと射精音がすめ)

【イリス】

iris\_0025

「ひゃ！ んひゃああああ！ ああん！ せ、精液、噴き出し、てええ！ ひゃあん！ びゅー、びゅーって、すごい勢いい！ 匂いも……あぶっっっ！」

【イリス】

iris\_0026

「ちゅるっ！ ああん、顔にまでかかって、ベトベトですよ……。ぺろ……。こんなに激しく、噴き出すなんてえ……。はあ、でも、精液のいい匂い、濃くなって、とってもいいキモチです……」

「イリス」

iris\_0027

「お鼻にも、お口にも入って……んう、ちゅるるっ……あ、美味しい……。じゅるっ、ちゅぱっ、甘くて、しょっぱくて……優しい味い……」

「イリス」

iris\_0028

「んふ、あ……ほっぺにも、ちゅるるっ……おでこにも、じゅるるっ……んなに、くちゅ、ぺろ……んふう……」

「イリス」

iris\_0029

「ああん、髪にもこんなにこびりついて……ぺろ……。ふう……ああん、こんなに精液かけられたら……お兄さんの匂い、とれなくっちゃいそうですう……」

「イリス」

iris\_0030

「精液、もっと、欲しい……。おちんちんさんについてるのも、舐めていいです、よね？ それじゃあ、遠慮なく、いただきますね？ んんう……くちゅ、ぺろ……あむう……」

「イリス」

iris\_0031

「あれ、そういえば、おちんちんさん、へにやってちっちゃいのに戻っちゃいましたね……。でも、こっちもやっぱり可愛いです……ぺろ、んちゅ……」

「イリス」

iris\_0032

「はあん、精液、美味しい……くちゅ、ぺろお……。……あ、おちんちんさん、舐めるの、これって、フェラチオ、ですか？ とつても、えっちな、こと……。ああん、わたし、キス、よりも先にフェラチオしちゃいました……はうう、恥ずかしい……」

「イリス」

iris\_0033

「ああ、でも、精液、美味しくて、フェラチオ、止められないのお……。えっちなこと、恥ずかしいこと、なのに、お兄さんのおちんぼ、ぺろぺろしたくて、たまらないんですう……」

「イリス」

iris\_0034

「んちゅ、んぱ……はあん、せーえき、とっても甘くて、うっとりしちゃ  
うっう……。ちゅ、ぱっ、舌の、上で、優しく、とろけて、んはあ…  
…」

「イリス」

iris\_0035

「はあ、はあ、さっき出た精液、全部吸い出しちゃいますね？　ちゅ  
るっ、ちゅるるっ、んああ、おいひいいい！　へろ、へろっ……」

「イリス」

iris\_0036

「んぶ、はあ……わかつちやいました。精液の出るとこ、舐めるたび、お  
ちんぽピクピクしてしますよ……。先っちょ、弱いんですね？  
ちゅっ、ちゅうー」

「イリス」

iris\_0037

「はぶ、はあ……お兄さんも、キモチよさそう……。へにやってしてたお  
ちんぽ、また、むくむくって膨らんできましたよ……？」

「イリス」

iris\_0038

「はんっ、はあ……へにやへにやのおちんぽ、あっという間に、ガチガチ  
のビキビキになっちゃいました……。またえっちな気分になってるんで  
すねっ」

「イリス」

iris\_0039

「ぶぶっ……。このまま舐め続けたら、また精液、びゅーびゅー出ちゃい  
ますか？　んぶぶっ……。それじゃあ、お手での次は、お口で、キモチ  
よくなってもらいますね、お兄さあん……。あむ、ちゅぱっ、れろ……  
ぴちゃ……」

「イリス」

iris\_0040

「はう、ちゅぶ、はあん……お手で、おちんぽ、こしこしされるのと、  
どっちがキモチいいですか？　ちゅぶっ、えへへ、お口でしたほうが、  
反応がよさそうですね……。ちゅ、じゅるっ……」

【イリス】

iris\_0041

「んちゅば、むちゅっ……ぱあっ……。はあん、出して、出して、お兄さん……さっきのびゅーびゅー精液、直接、わたしのお口に欲しいです……射精して、精液、吞ませてください……」

【イリス】

iris\_0042

「ふう、ん……でも、おつき……わたしのちっちゃなお口だと、舐めきれないかも……んちゅ、ぱあっ……」

【イリス】

iris\_0043

「はあ、はあ……あれ？　もしかしてえ、我慢してるんですか、お兄さん？　我慢は身体に悪いですよ……？　んちゅ、れろお……」

【イリス】

iris\_0044

「ちゅぱっ、くちゅ……ふふ、でもお、さっきお手ででしたときに、お兄さんのおちんぽ弱いところ、大体わかってるんですよ？　ちゅるっ！」

【イリス】

iris\_0045

「先っぽもそうですけど、ほら、くびれのざらざらした部分とか……じゅるっ、んぶっ、れるれる……。ほら、わたしの舌で、ぞりっ、ぞりっ……て、おちんぽの裏っかわ、こすられて、キモチいい、ですよ？　じゅるっ……」

【イリス】

iris\_0046

「それとほら、こうして、じゅるっ、おちんぽの竿、上から下まで……ん、れろ、じゅるる、れろお……って、舐められるの、キモチいい、ですよ？　……」

【イリス】

iris\_0047

「我慢しても、無駄ですよー。おちんぽ、じゅる、とっても、じゅるる、正直なんですから……。れるれるる……」



【イリス】

iris\_0048

「はぶっ、んぶっ、無理しちゃ、ダメですよ、お兄さん……？ わたしの  
フェラチオ、キモチいいなら、ちゅっ……精液、びゅるびゅる、出し  
ちゃってください……」

【イリス】

iris\_0049

「ちゅばっ、ちゅぶ……ほうら、もう、さっきみたいに、おちんぼ、びく  
びく、激しく震えてる……。わたしのちっちゃなお口に、精液、出した  
い出したいって、叫んでますよ？ じゅるるっ！」

【イリス】

iris\_0050

「んぶ、ほう、おちんぼも舐めて……じゅるるるう、れろおお、いつ  
しよに、お手ででしこしこしてあげれば……んっしよ、んっしよ、れろ  
ろ、じゅばああー」

【イリス】

iris\_0051

「ちゅばっ、じゅぶう！ さあさあ、もう、限界です、よね？ 出してく  
ださい、ちゅるっ、お兄さんの精液、わたし、全部飲みますから……ん  
じゅる、ちゅ、へろお……ー」

【イリス】

iris\_0052

「んー、んぱっ、んじゅぱっ……んふうんっ！ はっ、はっ、もう出ま  
すね？ 出ますね？ ください！ お兄さんの濃い精液、お口の中！  
んぶうっっ！ じゅるるるー」

(s.m:ぐゅしゃああと射精音がすめ)

【イリス】

iris\_0053

「んんんっ！ んぐっ、んぶぶっ！ んぱっ！ はっ、んぐぶう！ じゅ  
るるるー！ ぐきゅん！ ぐきゅん！ はぶんっ、美味しい！ ん  
ぶっ、ああ、勢い、二回目なのに、すげー！ ぐきゅうー」

【イリス】

iris\_0054

「んぐきゅん！ ぐきゅー！ ぶはあ……こつてり、濃い、精液の味、わた  
しのちっちゃなお口の中、満たして……んくっ！」

【イリス】

iris\_0055

「んくっ、ぐく、ん……。けぶっ、甘くてとろとろ、喉を滑り落ちて……  
ああん、んくっ、んくっ、いくらでも、ぐくぐく飲めちゃいます……！  
んはあー！」

【イリス】

iris\_0056

「んぐきゅ、はあ、んぱ、んぶはあ……ああ、止まっちゃった。でも、  
ぴゅっぴゅっって噴き出したお兄さんの精液、んくっ、美味しくて全部  
飲めました……」

【イリス】

iris\_0057

「あれ？ お兄さん、疲れちゃいました？ でも、わたしのちっちゃなお  
口に、ぴゅーびゅー出してるお兄さん、とってもキモチよさそうでした  
ねっ」

【イリス】

iris\_0058

「ふふっ、お兄さん、わたしみたいな小さな子でも、えっちなキモチに  
なっちゃう変態さんだったんですね？」

【イリス】

iris\_0059

「あらら？ またおちんちさんおつきなってますよ？ お兄さん、ま  
だまだ物足りないみたいですね？」

【イリス】

iris\_0060

「気が合いますね。わたしもです。それじゃあ、もっともーっと、えっち  
なことしましょう、お兄さんっ」

■ 02…お兄さんと初体験【騎乗位&正常位】

(前「バック01」からの続き)

そのまま騎乗位で淫魔少女に犯されて初めての相手となる。

少女の絶頂による逆転（リバ）からの正常位アリ。

「イリス」

irs\_0061

「はうう……それにしても、お兄さんのおちんちん、二回も射精したのに、びんぴんして元気ですね？　わたしみたいにちっちゃい子のご奉仕で、えっちな気分になっちゃってるんですね？」

「イリス」

irs\_0062

「聞いたことがありますよ、ちっちゃな女の子でえっちな気分になっちゃうヘンタイさん。ロリコン”っていうんですよ。お兄さん、ロリコン、なんですけどね？　……でも、わたしでえっちな気分になってくれて、すごく、嬉しいですよ……」

「イリス」

irs\_0063

「だから、ロリコンなお兄さんが大好きな、もうつとえっちなこととしてあげます。お兄さんのおつきいおちんちんさん、わたしのちっちゃいおまんこに挿れて……お兄さんの精液、いっぱい注いでもらいますから」

「イリス」

irs\_0064

「さあ、いきますよ……。こうして、ぴーんと立ったお兄さんのおちんぽを跨いで……ゆっくり、腰を、おろしていきますね……。ん、ふううん……」

「イリス」

irs\_0065

「……あ、ああ！　ひゃ、んん！　はあ……お兄さんのガチガチおちんぽの先っちょ、くちゅって、わたしのちっちゃなおまんこに、キス、しますよっ。」

「イリス」

irs\_0066

「どう、ですか？　ぶにぶににして、キモチいい、ですか？　はあん……わたしも、お兄さんのおつきなおちんぽ、おまんこにむちゅっ、むちゅってキスされて、キモチいい……」

「イリス」

iris\_0067

「んっ、あはっ……、ああん、先っちよだけじゃ、もつたないですね？  
こうして、おちんぼさんの根っことから、先っちよまで、おまんこでこ  
しこし、こしこし……ああ、これもキモチいいです……！」

「イリス」

iris\_0068

「あっ、はあ……わたしのおまんこも、とろとろ、ねばねばしたお汁が出  
てきました……。お兄さんのおちんぼも、先っちよ、またぬらぬら、  
光って……」

「イリス」

iris\_0069

「はあん、あ……お兄さん、早くわたしの中に入りたいですか？ わたし  
の中にどぴゅって精子出したいですかあ？ ああ、またおちんぼぴくっ  
て、なりましたね？」

「イリス」

iris\_0070

「ううん……こんなにおつきいおちんぼホントにわたしのちっちゃなおま  
んこに入るでしょうか？ ああ、でも、入れたい……入れます、ね……  
んっ……！」

「イリス」

iris\_0071

「ああ、んっ……ずぶっ、ずぶって、お兄さんのおちんぼ、わたしの中  
に、ゆ〜っくり入ってきます……」

「イリス」

iris\_0072

「んんっ、ふうう、ふあ、おつきくて、びくびくして、ガチガチに固いお  
ちんぼ……わたしのちっちゃなおまんこの中、めりめりって押し広げ  
て、入って、くううー！」

「イリス」

iris\_0073

「あ、はああ、ああああ、んう……！ ……はあ、はあ、お兄さんのおち  
んぼ、わたしのおまんこの奥まで、ずっぼり、根っこまで入っちゃいま  
したあ……」

「イリス」

iris\_0074

「ああ、んんっ、あはっ！　ねえ、ねえ、お兄さん！　どうですかあ？　わたしの、おまんこ、ちっちゃなおまんこ！　キモチ、いいですかあ？」

「イリス」

iris\_0075

「んう？　痛くは、ないのか……ですか？　心配、いりませんよ……んうっ、サキユバスに処女膜はあ、ないん……です。驚きましたか？」

「イリス」

iris\_0076

「ふふっ、お兄さんったら、わたしみたいな……小さな子の処女膜の破る感触、期待してたんですか？　んうっ、それとも……痛がってるところが見たかったとか？」

「イリス」

iris\_0077

「ふう、ん……わたしみたいなちっちゃい子に、乗っかられて……無理やりセックスされてるのに、おちんぽびん立てて、その上、痛がるとこまで見たいだなんて……ホントに、ヘンタイさん、ですね？」

「イリス」

iris\_0078

「そんな、ヘンタイなお兄さんは、ふあ……んんっ、おちんぼ、ちっちゃい子の膣内（なか）に挿れてるだけじゃ、満足できません……よね？」

「イリス」

iris\_0079

「うふふっ……お兄さんのロリコンおちんぼ、わたしのおまんこの中で震えてます……。ずんずんって突つつきまくって、どぴゅどぴゅって濃い精液、中出ししたいって震えてますよ？」

「イリス」

iris\_0080

「わたしも、おまんこの奥、子宮に、お兄さんの精液、たっぷり欲しいです。お腹、たつぶたぶになるまで、精液で満たしてください……」

【イリス】

iris\_0081

「あ、でも、お兄さんはわたしの魔法で縛られちゃって、自由に動けませんよね？　じゃあ、お兄さんに変わって、わたしが動いてあげますね…」

【イリス】

iris\_0082

「わたしのおまんこで、ヘンタイお兄さんのロリコンおちんぼ、たつくさんキモチよくしちやいますね？　んしょ、んっしょ……はあ、んっ、あっ、はあん！」

【イリス】

iris\_0083

「んは、くひゅ、はっ、んああ！　お兄さんの、おちんぼ、下から、ずんずんって！　おまんこの奥、こりこり、じりじりって、押し当てるの、キモチ、いい！　んっ……くっ……はあっ！」

【イリス】

iris\_0084

「熱くって、太くって、中で、びくびく、暴れて……んっ、ふっっ！　やっぱりわたしの、おまんこには、おつきすぎる、かもです……！」

【イリス】

iris\_0085

「んっ、くっ、でも、はふっ！　中、ぐちゅぐちゅっってお兄さんのおちんぼで、膣内（なか）をえぐるの、キモチ、いいですっっ！」

【イリス】

iris\_0086

「はう！　ああっ！　これが、えっち、せつくす……初めて、なのに、キモチいいの……！　ふああっ！　腰が勝手に動いてえ！　お兄さんのおちんぼお、奥までじゅぷじゅぷ啜えこんじゃいますう！」

【イリス】

iris\_0087

「ねえ、お兄さん！　わたしの処女おまんこ、ずっぱんずっぱん奥まで突かせてもらって、どんなキモチ、ですかあ！？　あっ、んふっ、あはっ！　ああっ、キモチいいんですね？　嬉しいいい！」

「イリス」

iris\_0088

「お兄さんにキモチよくなってもらえると、わたしも、嬉しくて、もうつとキモチいいです！ あひつ、ああんつ、くううん！ おまんこ、じゅぼじゅぼ、せつくすキモチいいですううー！」

「イリス」

iris\_0089

「ああんつ！ わたしのおまんこ、お兄さんのおちんぼ啜えるの……癖になっちゃいますうー！」

「イリス」

iris\_0090

「はあ、はあ、お兄さん、もう限界ですか？ わたしの、おまんこの中に、射精、してもいいですよ？ 出して、たっぷり出して、わたしのお腹の中、子宮を、お兄さんの精液でいっぱいにしてもらいますー！」

「イリス」

iris\_0091

「んんっ！ はあっ！ やっ、わかります！ お兄さんのおちんぼ、ぶくって、膨らんで！ わたしの、ちっちゃな、おまんこ穴、広げ……んあはっー！」

「イリス」

iris\_0092

「んっ、んっ、んひやあああああ！ あーっ！ あっ、あっ、で、出てるうう！ お兄さんの精液、わたしの中で、びくんびくんって震えて、精液、びゆるびゆる出して、んひいいいつー！」

「イリス」

iris\_0093

「あ、熱っ、んひ、んひ、熱いいい！ お兄さんの精液、すごく、熱くて、わたしの中、焼けちゃいそうー！」

「イリス」

iris\_0094

「あは、んんっ！ でも、美味しい……！ お兄さんのあつつい精液、美味しくて、子宮のお口が、ぐびぐび、ぐびぐびって、お兄さんの精液、呑んでいますー！」

「イリス」

iris\_0095

「はあん、はあ！ お兄さんの精液もつと出してもらいますよっ！ ほら、おまんこでぎゅーつてしぼってあげますから！ どんどん出してください！ んぎゅ、ぎゅー、ぎゅー！ ああん！ まだまだ出るうー」

「イリス」

iris\_0096

「あああっ！ どんどん出てる！ わたしのちっちゃな子宮、たっぷんたっぷんに満たして、ああん！」

「イリス」

iris\_0097

「くあん、ふああ！ ああ、溢れちゃう！ わたしの子宮、ちっちゃすぎて、お兄さんの精液多すぎて、おまんこから溢れちゃってますうー！」

「イリス」

iris\_0098

「はあーっ！ はっ、はああああん！ んんっ！ でも、はあ、はあ、わたしの子宮、おまんこの中……んは、ああ、精液、じわじわ染みこんでいきますう……はああん……」

「イリス」

iris\_0099

「くあ、はあ……射精、止まりました、ね……。はあ……初めておまんこで味わう精子、とつても、キモチよくて、美味しかったです……お兄さんの、精液で……お腹、いっぱいです……」

「イリス」

iris\_0100

「……ふえ？ んあっ！ そんなっ！ あんなに、射精したばかり、なのにっ……！ ひうん！ や、押し倒され……ふああっ！」

「イリス」

iris\_0101

「くうん！ ふああ、わたしが……イッちやったから、お兄さんを縛つた魔法、解けちゃって……はあん！ ああっ しゅーいッ！ そんな、奥までえー」



「イリス」

iris\_0102

「やんっ！ はあん！ お兄さんの、おちんぽっ！ 今度は、上から！  
あんっ！ ずんずんって！ きゃんっ！ わたしの、奥、突いてえ…  
…！ はああんっ！」

「イリス」

iris\_0103

「ああっ！ んんっ！ ひう！ やああん！ そんなに激しく、じゅぷ  
じゅぷ突いてっ！ んああっ、中に、出したばかりのせい、えきっ！  
奥に、どんどん、押し込まれ、てえ！」

「イリス」

iris\_0104

「やあん！ わたし、サキュバス、なのに！ あんっ！ 人間を、ゴハン  
にする、悪魔なのに！ ひいん！ お兄さんに、人間に、こんな…あ  
ひゃあん！」

「イリス」

iris\_0105

「でも、いいですっ！ あひん！ これも、キモチ、いいですう！ ロリ  
コンおちんぽで、好き勝手にズコズコされるの、いいよおお！ はあ  
あん！」

「イリス」

iris\_0106

「ああん、らめえ！ お兄さんのおちんぽで、犯されて、ああん！ やあ  
ん！ 中出し、してほしくて、足、勝手に絡んじやうのおー！」

「イリス」

iris\_0107

「ああーっ！ んんーっ！ はひ、あ、息、できなっ…ああーっ…わた  
しのちっちゃなおまんこ、お兄さんの大人ちんぽに騎けられちゃいま  
しゅう！ わたしの膣内（なか）お兄さんの形にされちゃいますう！」

「イリス」

iris\_0108

「んああっ！ んひ！ ああ！ は、ひ、やん！ お、お兄さんのおちん  
ぽ、ま、また、わたしの中でぶくーって膨らんでえ！ ちっちゃなおま  
んこ、みちみち広げて、お、おつきすぎ…んあああ！」

「イリス」

iris\_0109

「あひ、んひいいいい！ あっ、あああっ、あーっ！ しゅ、しゅい、勢いで、出てまじゅうう！ さっきより、熱くて、激しくて、濃いのおおお！ わたしの中に、びゅるびゅるびゅるくって、溢れちゃううー」

「イリス」

iris\_0110

「あああー！ んん！ やあああ！ それえ！ ごりゅんごりゅん突きなから、びるびる射精されるの、好きい！ 大好きい！ お兄さんのおちんぼも、精液も、わたし、大好きですううう！」

「イリス」

iris\_0111

「はあーっ！ はああああ！ んああああ！ あ、ああ……あう……。  
はあ、はあ、はああ……や、やっと射精、止まりましたあ……」

「イリス」

iris\_0112

「ん、んう……お兄、さん……？ ふあ！ んっ、ちゅっ……ああん、キス、うれひい、もっとお……はむっ……んちゅ、ばあ」

「イリス」

iris\_0113

「はあ、初セックスの後に、初キスだなんて……順番、めちゃくちやです  
ね……んちゅ、あむっ……でも、キスも、キモチよくて、頭の中、とろ  
くんってしちゃいます……」

「イリス」

iris\_0114

「あんっ！ ……んっ、お兄さん、また、びるるって、わたしの中に出  
しましたね……。わたしとのキスで、感じちゃいましたか？」

「イリス」

iris\_0115

「はあん、でも、お兄さんのおかげで、わたし、最高の初めてになりました……。ありがとうございます、ね」

一緒に暮らす事になった淫魔少女との朝の営み。

【イリス】

iris\_0116

「じゅぷっ、ぺろお……あ、おはようございます、お兄さん。……え？  
何をしているか、ですか？ もちろん、見ての通り、フェラチオ、です  
よ」

【イリス】

iris\_0117

「人間の雄の朝立ちおちんぽ、わたしたちサキュバスの朝ゴハンです。今  
日も、お兄さんの精液、たくさんたくさん、わたしのちっちゃなお口  
に、溢れるくらいに注いでもらいますね？」

【イリス】

iris\_0118

「もちろん、我慢しても無駄ですよ。お兄さんの弱いところ、わたし、  
ぜーんぶ知ってますからね？」

【イリス】

iris\_0119

「まずは、おちんちんの裏っかわから、れるるって、舐め上げるの、ど  
う、ですか？ ほら、ビクンって、おちんぽの根元、疼いちゃいました  
よね？」

【イリス】

iris\_0120

「れるっ、れるるっ……うふ、お兄さん、キモチよさそう……。ねる  
るっ、じゅるるっ……んっ、キモチよくて、思わず声が漏れちゃう、お  
兄さん、可愛いです……れるるっ、じゅるっ！」

【イリス】

iris\_0121

「お次は、おちんちんのくびれたとこ、ちゅ、んんっ、お掃除するみたく  
……れるるっれるる、って、舐められるの、きもちいいですね。ほら、  
ぶくぶくって、お兄さんのおちんぽ、膨らんできましたよ？」

【イリス】

iris\_0122

「おちんちんの先っぽ、真っ赤になって、ぱんぱんになって、とっても元気で、キモチよさそう……もっと舐めて欲しいって、おねだりしてますねっ」

【イリス】

iris\_0123

「んじゅっ……れるる、じゅるっ、んはっ……おちんちんの先っぽに、トロって、えっちなお汁、出てきましたよ……？ んふ、いい匂い……」

【イリス】

iris\_0124

「それで、一番弱いのが、ちゅるっ……、おちんちんの先っぽ……。ほら、この割れ目の部分……れるるっ、中、くすぐるみたいにな、れる、れるって、舐められるの、どうですか……っ」

【イリス】

iris\_0125

「んんっ、ちゅっ、んふふっ……ほうら、もう先っちょ、とろとろ……ぐくっ……ふああ、えっちなお汁、おいひいれふ……んちゅ、ぱっ……」

【イリス】

iris\_0126

「……ふふっ、ごうひで、舐めながら下がって……れるお、んちゅっお兄さんの、ロリコン精液が溜まってるココも……ん、じゅる……ねちゅ、じゅるうっうー」

【イリス】

iris\_0127

「ふあ、んちゅうっうこんなところまで、よだれタレちゃって……んっふふっせーえき溜まってるトコ、ちっちゃな子にペロペロされりゅの……ちゅ、たまらないんれふ、ね？ じゅるるっー」

【イリス】

iris\_0128

「ほらほら、んちゅ……わたしのちっちゃなお口にちゅぱちゅぱされて、ぴちゅ……お兄さんのおっきなおちんぽ、もう、射精したいよおって、びっくんびっくん叫んでますよっ」

【イリス】

iris\_0129

「じゅるっ、ぴちゅ……ふふ、お兄さんと違って、素直なおちんちんさん、わたし大好きです……。可愛いおちんちんさんに、キス、してあげますね、ん、ちゅ……」

【イリス】

iris\_0130

「ちゅっ、ちゅっ、お兄さんのおちんちんさん、好き、好き……むちゅっ、むちゅう……。いつも頑張ってるたまたまさんも、好き、ちゅっ、ちゅっ……」

【イリス】

iris\_0131

「ん……お兄さんも、ちゅっちゅめされたいですか？　じゃあ、その前に、わたしにたくさん朝「ハン……出来たての新鮮な精液、くださいね？」

【イリス】

iris\_0132

「わたしのちっちゃなお口の中に、精液、びゅっびゅって出して、キモチよくなってください……はぶっ、んぐっ、んっ……ちゅるるっ！」

【イリス】

iris\_0133

「んちゅるっ、ちゅっ……いいですよ、いつでも、出して……じゅるっ、じゅるるっ、どろっどろの、濃厚な精液、ほしいです、ください、んっ、ちゅるっ、んぶぶっー」

【イリス】

iris\_0134

「あはっ、ふうん、お兄さんの、おちんぼ……じゅるっ、どんどん、熱く、固く……！　ああ、わかります……もう出ちゃうんですね！　いいですよー！　じゅるるっ！　くださいー！　じゅるっ、くださーいー！　んぶうー」

【イリス】

iris\_0135

「んんんっ！　んうー！　んぐっ、んぐっ、ぐきゅん！　ぐきゅー！　あぶ、はあ、出てますっ！　んぶはっ、ぐきゅうー！　濃いの出てるよおおー」

【イリス】

irs\_0136

「んぐきゅ、ぐきゅ、甘くて……ぐきゅ、ぐきゅ、とろとろの……ぐきゅきゅ、んっ、優しい、味……。美味しくて、いい匂いの、お兄さんの、精液……ぐきゅん、うくんっ！」

【イリス】

irs\_0137

「ああん、もう、やみつきです……わたし、お兄さんの精液、大好物ですうう……。ぐきゅ、ぐきゅうん！」

【イリス】

irs\_0138

「はあ、ふはあ、たっぷり出しましたね、お兄さん……。約束通り、お兄さんにも、ちゅうしてあげますね？」

【イリス】

irs\_0139

「ん……ちゅ、ちゅる……。ぷはっ……。ふふ、精液の味がしましたか？ 美味しいですよ？ え？ そんなこと、ありませんか？ おかしいですね……」

【イリス】

irs\_0140

「……んっ、お兄さんの精液の味。思い出したら……。もっと、欲しくなっちゃいましたおかわり、したいです。もちろん、いいですよ、お兄さん？ ちゅぶっ……」

【イリス】

irs\_0141

「ちゅ、へろ……。ほら、一回出して、へにやへになっちゃったおちんぽさんも、ちゅっ、ちゅる……。わたしのフェラで……。んちゅ、ぱっ……。むくむくって、元通り、ぴんぴんです……」

【イリス】

irs\_0142

「ホントに、素直なおちんちんさん……。可愛くって、ほっぺたすりすりしちゃいます……。すりすり、すりすり……。んふ、ほっぺたでされるのも、キモチいいですか、お兄さん？」

【イリス】

iris\_0143

「ふふっロリッンで変態なお兄さん♪ おちんぼ、私のほっぺの柔らかい  
〜」ど、すりすりってされて、感じちゃってるんですね」

【イリス】

iris\_0144

「じゃ、こうして、おちんちんのくびれたところ、下からむにむにつて、こ  
すりあげられるのは、どうですかあ？」

【イリス】

iris\_0145

「んっ、ひゃん……こうして、おちんぼ、ほっぺですりすりすると、精液  
のぬるぬるも、興奮してびくびく震えてるのも、よくわかりますね…  
…」

【イリス】

iris\_0146

「おちんぼの向こうつかわも、反対のほっぺで……すりすり……すりすり  
……。ああん……。ふふっ、私のお顔、お兄さんのエッチなお汁でベト  
ベトになっちゃいました……。ね？」

【イリス】

iris\_0147

「ふふっ、お兄さんのおちんぼ……。びくんって震えて可愛いです。心配し  
なくても、今度は、ほっぺの内側ですりすりしてあげますね？」

【イリス】

iris\_0148

「うきますよー。んっ、じゅばっ……。じゅぽっ、んっ、ぶぐう！ じゅ、  
じゅ、じゅばっ……。んじゅ、どうれふ…かあ？ こうひて、小さい  
お口の中れ、おちんぼアメ玉みたく、ころころされるの、好きれふよ  
ねえ？」

【イリス】

iris\_0149

「おちんぼの先っぽ、んくっ、小さいお口に突っ込んでえ……。ん、ぽっ…  
…何度も、何度も、んんっ、ほっぺの裏っかわ、こすりつけられて……  
感じちゃってまふかあ？」

【イリス】

iris\_0150

「んぐちゅっ……じゅぱっ、んっ、ふぐむっ……はあ、お兄さんのロリコンおちんぽ、ホントはイケないのに、わたしみたいにちっちゃなお口の中でビキビキに勃起して……お口の中、犯しちゃってますよ……っ」

【イリス】

iris\_0151

「んー、ぐじゅぱっ……んぽっ、んちゅ、んぱあ……ふふ、また限界が近いみたいですね？ 我慢しないで、わたしのちっちゃなお口の中に、ロリコンお兄さんの精子、たくさん、たくさん射精しちゃいましょう……ね？ ちゅ、ちゅる、ちゅるる！ んぐう！」

【イリス】

iris\_0152

「んーっ！ んんん！ あっ、んぱあ！ ぐきゅっ、ぐきゅっ、ぐぐんっ！ あっ、ぷはっ、また、精液っ……出てますっ……んんっ、ぐきゅー」

【イリス】

iris\_0153

「んぷちゅ、ぱっ、はああ、ぐきゅー！ ああ、一回出してるのに、味も匂いも、まだまだ濃いのお……ああん、ぐきゅっ、どんどん出てきますっ……んんっ、ぐきゅー」

【イリス】

iris\_0154

「んはっ、ぐきゅ、うくんっ！ はっ、ぷはっ！ ……んっく、ごちそうさまでした。お兄さんの精液、今日もとっても美味しかったです」

【イリス】

iris\_0155

「ふふっ……お兄さんったらあんなに濃い精液を二回も出したのにまだまだ元気です。私のちっちゃい身体で、もーっと射精したいんですねっ」

【イリス】

iris\_0156

「……え？ お兄さんは、このあと、出かける用事があつて、このままだと遅刻する……？ むー、私より大事な用事なんて……」



【イリス】

iiris\_0157

「でも、ほら、こんなにおちんちんさん、ぴんぴんしてます……。もつと、もつと、精液出したいって、言ってますよ……？」

※注釈：次のセリフは、とびきり甘く、耳元で囁くようにしてください

iiris\_0158

「だから、今日はお休みにして……わたしと一日中、セックス、しましよう？　ね、お兄さん？」

【イリス】

※「誘いを断る」シナリオは、トラック04へ続く。

※「誘いに乗る」シナリオは、トラック05へ続く。

■04：遅刻確定のおかわりサービス

(前トラック03からの続きで、誘いを断った場合のシナリオ)

誘いを断り最後に1回だけという約束で少女のフェラを受ける。

【イリス】

iiris\_0159

「……むー、わかりました……。今日は諦めます。だから、一回だけ……あと一回だけお口で飲ませてください、ね？」

iiris\_0160

「ふふっ、優しいお兄さんなら、そう言ってくれると思いました。……さっきの射精でドロドロのおちんぽ……。わたしのお口でちゅーんと綺麗にしてあげますね？　ん……。ちゅばっ、ちゅるっ……。ぺろ、ぺろ……」

iiris\_0161

「んふふ、出されたばかりの精液……。しっとりして、甘い……。美味し……。ぺろ……。おちんちんさんの根元から、先っちょまで、じゅるる、じゅるるって舐め上げて……。じゅるる……」

【イリス】

【イリス】

【イリス】

irs\_0162

「ペろ、ちゅっ……先っちょから、とろとろ、垂れてる精液も……  
ちゅっ、ちゅっ……って、奥に残っちゃったのも、最後まで、吸い出し  
てあげますね……」

【イリス】

irs\_0163

「じゅ、じゅるるっ……んふう、まだとっても温かくて、美味しいですね  
……じゅるっ、ちゅるるっ……」

【イリス】

irs\_0164

「あふっ、お兄さん、これもキモチよさそうですね？ ストロー見たく、  
おちんぼ、ちゅっちゅって吸われるの、好きなんれふ、か？ ちゅっ、  
ちゅる……」

【イリス】

irs\_0165

「んっ、ちゅ、おちんぼの中は、綺麗になりましたね？ 裏っかわに引っ  
かかった精液も、れるっ……舐めとって……ペろっ、ペろっ……うふ、  
甘あゝ……」

【イリス】

irs\_0166

「んふ、あふっ……ん、くびれたところに溜まった精液も、ちゅ、ちゅっ  
て……ああん、美味ひい……ちゅっ、ちゅるっ……」

【イリス】

irs\_0167

「ふふ、じゅるっ、くすぐりたい、ですか？ でもお兄さんのロリコンお  
ちんぼ、私みたいなちゅっちゃんおくちのお掃除フェエで、ぴくぴくっ  
て、喜んできますよっ」

【イリス】

irs\_0168

「ぴちゃ、ほら……くちゅ、ちゅっ……おちんちんさんの下のほうに、こ  
ぼれちゃった精液も、ん、ペろっ、ちゅ……こうして、ちゅるっ、舌  
で、掬いとって、んんっ、じゅるっ……」

「イリス」

iris\_0169

「……ふふ、これで準備オツケーです。お兄さんの精液、心残りがないように、たっぷり飲ませてもらいますよ。いただきますーす、んっ、じゅぷっ、んぷっ……ちゅうっ……」

※注釈：ここから、急にお兄さんにイラマチオをされて、びっくり&切羽詰まった雰囲気を出してください

「イリス」

iris\_0170

「……んっ！ ふぐっ、うっ……やんっ、お兄さんっ……そんな、うぐっ、いきなり、喉の、奥まで……んぷっ、ぐぶっ……んふう！」

「イリス」

iris\_0171

「や、やめ、そんな、無理矢理、おちんぼっ……突っ込んだら、おご、うぐう……！ わたしのおくち、こわれひや……ううん、ふううん！」

「イリス」

iris\_0172

「ほがっ、うっぷっ、はあっ、やっ……けほっ、は、早く射精して……済ませるつもり、ですか？ ……んぱっ、ほあ、だ、だからってこんな、んっ、ぷう！ ばあ！」

「イリス」

iris\_0173

「やあ、おふっ、お口いっぱい、おちんぼ……んうう！ 奥のほう、まれ……犯され、てえ！ あひゅ、ぱっ、うはうう！ お、ぶう！」

「イリス」

iris\_0174

「お兄さ……えぶっ、わたしの、おまんこだけ、じゃなくて、こんな、お口まで犯して……！ いじめるの、好き、なんです、かあ？ おふっ、んぐううー」

「イリス」

iris\_0175

「ああん、んぷっ、ぱあ……や、やっぱり、お兄さんは、ヘンタイさん、ですね……んぱっ、ひゅうんー！」

※ここから攻守逆転し、サキュバスが攻めに回ったような雰囲気を出してください

【イリス】

iris\_0176

「ん、おふう！ でも、うつ、ごうして、乱暴にされるのも、いいです、ね！ もっと、激しく、めちやくちゃんに、してくださいっ！ おぷっ！」

【イリス】

iris\_0177

「おぐっ、んぶっ、えう……もっと、奥、ぐりぐりって、突いて、お、ふうう！ んぶっ！ おうっ！」

【イリス】

iris\_0178

「もっと、もっと、んじゅっ！ じゅぶっ！ おうっ、んうう！ わたしのお口、大人おちんぽで騎けて、お兄さん専用にしてえ……！ んっ、ふううー！」

【イリス】

iris\_0179

「おぶっ、んんっ、お兄さんのロリコンおちんぽさん、わたしのお口で、もっと気持ちよく、して、あげまふ……んむっ、んんんっ！」

【イリス】

iris\_0180

「ちっちな喉、ガンガン、突いて、おぐっ、どんどん、キモチ、よくなって、はうっ！ 最後の射精……精液、からっぽになるまで、たっぷり射精させちゃいます……ね？ んん、ぐふうー！」

【イリス】

iris\_0181

「んあ、んひゅう！ あっ、あっ、喉、勝手に動いちゃいます……。お兄さんのおちんぽ、ごりごりって奥まで……何度も、すっぱり呑みこんで……んふうー！」

【イリス】

iris\_0182

「あぶっ、ああっ！ お兄さん、もっともっとキモチよくなって、わたしのちっちなお口、犯して、喉の奥、突いて……んふうー！」

【イリス】

iris\_0183

「んじゅっ、ばっ、あぶ、んんっ！ ……んぐっ、お兄さんのロリコンおちんぽ、んんうう！ 喉の奥で、ふくらんで……んぐっ！ んむううー！」

【イリス】

irs\_0184

「もう、イキそうなんです……ね？ んうう！ ふ、いいれふよ、射精、してえ！ お兄さんの精子、のませてえ！ んぐっ、じゅっ、じゅるるっ！」

【イリス】

irs\_0185

「んんーっ！ んっ、んぐっ！ ごきゅん！ ごきゅ、んふう！ んふあ、射精、してまふ……ロリコンお兄さんの精液……わたしのお口、孕ませるみたいにドクン、ドクンッ……って！ んふっ、ごきゅう、うくんっ！」

【イリス】

irs\_0186

「はっ、っぐっ、ぐくっ！ ごくんっ！ はっ、はあ……う、っふっ、勢い、よすぎて、美味しい精液、口の端から、ぽたぽたって、こぼれちゃう、うう！ んふう！」

【イリス】

irs\_0187

「あぶっ、んぶっ、ぐくん、ぐくん……！ ぷはっ、はあ、うくんっ……はあ、お兄さんの美味しい精液、たくさんたくさん、いただきましたあ……じゅるるっ！」

【イリス】

irs\_0188

「あ……おちんぼ、また精液でドロドロになっちゃいました。お出かけるなら、おちんぼ、ちゃんと綺麗にしないとですね？ ん、じゅる……」

【イリス】

irs\_0189

「んふぶっ、ちゅう、れろっ……。あれ？ お兄さん？ もしかして、わたしみたいな小さな子に、途中から逆転されちゃったの、落ちこんでるんですかあ？ ちゅるるっ、じゅる……」

【イリス】

iris\_0190

「んふふ、いいじゃないですか……だって、お兄さんは優しい、ですから……。ちゅっ、ちゅるるっ、そんな、強がらなくても、普段通りで、いいんですよ……じゅるっ……」

【イリス】

iris\_0191

「わたし、ずっとお兄さんのこと、見てたんですよ……優しい、優しい、お兄さんのこと、んちゅ……いつも頑張ってる、お兄さんのこと、ちゅ、ちゅば……」

【イリス】

iris\_0192

「わたしは、お兄さんのこと、ちゃんとしていますよ……いつも頑張ってるお兄さん、偉いです……ちゅる……」

【イリス】

iris\_0193

「だから、お兄さんに、キモチよくなってほしいんです……ちゅる、ちゅばっ……。遠慮なく、キモチよくなってもいいんですよ？　ちゅばっ……」

【イリス】

iris\_0194

「お兄さんをキモチよくしてくれる、おちんちさん、いい子いい子……。いつも頑張ってるお兄さんも、いい子いい子……頭、なでなでしてあげます」

【イリス】

iris\_0195

「なでなで、なでなで……お兄さん、いつも、偉いです……すごいです……。だから、わたし、これから、お兄さんをたくさんキモチよくしてあげますね？」

【イリス】

iris\_0196

「……あ、お兄さん、もう、時間なのですか？　しかたない、ですね？　でも、お兄さん……何か忘れてませんか？　ほら、ちゅっ……。いつてきますの、キス……ん、ちゅば、れろっ……」

「イリス」

iris\_0197

「ん……そう、舌、絡めて、とろとろ……ん、ちゅるっ……ちゅぱっ、んっ、もつと……んちゅ、ぱあ……」

「イリス」

iris\_0198

「お出かけしても、寂しくないように、しっかり……んちゅ……今のうちに、ぴったりくっついて……絡まって……んちゅ……」

「イリス」

iris\_0199

「ちゅっ、ぶはっ……ああん、やっぱりお兄さんとのキス……、温かくて、優しくて、はあん、最高です……。わたし、幸せです……」

「イリス」

iris\_0200

「……朝ゴハン、ごちそうさまでした。晩ゴハンも楽しみにしてますね？ お兄さん、いつてらっしゃい！」

■ 05：お休み確定のセックス三昧

(前トラック03からの続きで、誘いに乗った場合のシナリオ)

誘いに乗り外出を諦めて少女とセックスをする。

「イリス」

iris\_0201

「うふふっ、お兄さんならそう言うってくれるって思っていました。今日は、わたしと、一日中ずっつとずっつと、セックス、しましょうね？」

「イリス」

iris\_0202

「気にすることなんてありませんよ、お兄さんはいつも頑張っているんですから、休憩も必要です。え？ 連絡？ むー、そんなの、エッチの後でいいじゃないですかあ……」

「イリス」

iris\_0203

「今日は、何もかも忘れて、わたしのちっちゃな身体にたっくさん射精して……精液からっぽになるまで、キモチよくなってください……！」

【イリス】

iris\_0204

「あ……ふふ、お兄さんのロリコンおちんぼ、わたしとエッチすること想像して、むくむくっておつきくなってきましたよお？」

【イリス】

iris\_0205

「びーんって立って、ガチガチに固まって、わたしのちっちゃなおまんこ、奥までガンガンって突っつきたいって、ビクビク震えてますよ……」

【イリス】

iris\_0206

「やっぱりお兄さん、ロリコンで、 Hentai で、スケベさん、なんですか？ でも、いいですよ……ロリコンおちんぼさんのお望み通り、わたしのちっちゃな身体でキモチよくしてあげますから、ね……？」

【イリス】

iris\_0207

「ふふ、わたしのおまんこも、お兄さんのおちんぼ食べたくて、うずうずしてます……。ほら、もう、こんなにびしょびしょですよ……」

【イリス】

iris\_0208

「わたしの濡れ濡れおまんこ……くばって指で開くと、ほら……とろーって、エッチなお汁が垂れちゃいます……」

【イリス】

iris\_0209

「お兄さんのロリコンおちんぼ、このちっちゃなおまんこにハメて、じゅぽじゅぽ掻き混ぜたいですよね？」

【イリス】

iris\_0210

「ふふ、びくびくしてるお兄さんのロリコンおちんぼに跨って……ゆーっくり下ろしていきますよお……。ん、しょ……あ、んう……」

【イリス】

iris\_0211

「あふっ、先っぽ、ちよつと触っただけで、ロリコンおちんぼ、びくって跳ねました……。んふふ、大丈夫ですよ……すぐに全部呑みこんであげますから……ふうう、ん……」



【イリス】

irs\_0212

「ひゃうんっ！ あんっ！ お兄さんのおちんぼ、ずぶうって、一気にわたしの奥まで、ひう、入っちゃいました……」

【イリス】

irs\_0213

「はぁあん……お兄さんのロリコンおちんぼ、ちっちゃなおまんこにハメられて、びくん、びくんって喜んでますよお？」

【イリス】

irs\_0214

「ぶぶ、ちっちゃいキツキツおまんこ、大好きなお兄さん……わたしもお兄さん、大好きです……。お兄さんのおちんぼがしたいように、わたしのおまんこ、味あわせてあげますね？ ん、しょ……んんう……」

【イリス】

irs\_0215

「ああ、んはぁ……どうですか、こうして、おちんぼ、ずっぱり、おまんこに、んはぁっ、啜えこまれたまま、ゆさゆさって腰振るの、はぁ、ん……キモチいい、ですかぁ、お兄さん？」

【イリス】

irs\_0216

「はぁ、はぁ、お兄さんのぶっといおちんぼ……わたしのキツキツおまんこの中、ぐいっ、ぐいって、押し広げて……んふうう……」

【イリス】

irs\_0217

「んはっ……あはんっ……わたしのおまんこ、どんどん、お兄さんのおちんぼにびったりな形になっちゃいます……あはぁ……」

【イリス】

irs\_0218

「あぁっ……やっぱりキモチいい……わたしのおまんこ、すっかりお兄さんのおちんぼ、覚えて、くねくねって勝手に腰が動いちゃいますうう……」

【イリス】

irs\_0219

「お兄さんのおちんぼ、ホントにすごいです……わたしをこんなに、キモチよくしてくれて……。お兄さんさえいれば、わたし、何もいりませんよお……」

「イリス」

iris\_0220

「ああ……んん……お兄さんのロリコンおちんぽで、感じて、エッチなお汁がどんどん溢れちゃいます……ああ、ん、はああ……」

「イリス」

iris\_0221

「ふあ、んふう……ああ、キモチいいですか？ ……やあんっ、お兄さん、わたしのおっぱい、触って……ああん……」

「イリス」

iris\_0222

「ごんな、ああん、ちっちゃな、おっぱい、んうう、触りたがるなんて、ホントにロリコンさんですね……ああん……でも、キモチいい……」

「イリス」

iris\_0223

「ああっ！ んんう！ 乳首、そんな、コリコリ……！ んんーっ！ あっ！ 感じちゃい、ますううう！ んんーっ！」

「イリス」

iris\_0224

「はあ、はあ……お兄さん、ありがとうございます……わたしのちっちゃいおっぱい……キモチよくしてくれて……。わたしもお礼に、もつともうっつと激しくして、お兄さんをキモチよくしてあげますね？ んしょ、んんっ……」

「イリス」

iris\_0225

「あ、んきゅ！ ふうん！ どう、ですか！ おちんぽの根っこから先っぽまで、ちっちゃなキツキツおまんこで、しこっ、しこって、しごかれるの……キモチいい、ですかあ……？」

「イリス」

iris\_0226

「あんっ、あふう！ お兄さんのおつきなおちんぽ、わたしの奥、ずんずんって突いて！ あっ、わたしの子宮まで、ロリコンおちんぽの形に、なっちゃいますうー！」

【イリス】

iris\_0227

「あつ、んはんっ、きゅうん！ あはん！ ああ、お兄さんのおちんぽ、わたしの子宮、ガンガン叩いて、……ふあん、素敵、ですう……！」

【イリス】

iris\_0228

「ほあ！ んふう！ あつ、お兄さんのおちんぽ、根っこから、ぷくって膨らんで……あ、あつ、びくびくしておちんぽの鼓動、どんどん激しくなつてええ！」

【イリス】

iris\_0229

「はあっ！ はああっ！ わかってますよ！ 精液、出ちゃうんですね！ さあ、出してください！ ねっとり濃くて、美味しい精液、わたしの中に、ほしいです！ んふうっ！」

【イリス】

iris\_0230

「あ……んううう！ あ、はあああああ！ あつ、あつ、びるびるって濃ゆい精子、出てるううう！ はひゃ、んひゃ、あはああああ！」

【イリス】

iris\_0231

「はんっ！ はあん！ ああっ！ ふあんっ……お兄さんの濃い精液、んっ！ みっちり、子宮の奥まで……注がれちゃってますっ！」

【イリス】

iris\_0232

「あああーっ！ あつ、あつ……ふああああ……。はあ、はあ、止まりましたね……。美味しかったですよ、お兄さんの精液……とってもキモチよかったです……」

【イリス】

iris\_0233

「お兄さんも、とってもキモチよさそうですね……？ 精液出きったおちんぽ、わたしの中で、まだビクン、ビクンって震えてます……」

【イリス】

iris\_0234

「うふふ、まだまだエッチ、できそうですね？ 大丈夫ですよ、これだけ元気なんですから……このまま、もう一回、射精してもらいますね？」

【イリス】

irs\_0235

「……ん、しょ……ああん……さつき出されたばかりの精液、ぐちゃぐちゃ、ぬるぬるって……掻き混ぜるの、とってもキモチいいです……わたし、これ、好きです……」

【イリス】

irs\_0236

「はあ、ん……射精してすぐのおちんぽに、アツアツの精液、泡立て、られて……子宮の中に、どんどん、押し込まれ、てえ……んふう……」

【イリス】

irs\_0237

「んひゃっ、んん……わたしの子宮、お兄さんの精液欲しがって、おちんぽにちゅうちゅう吸いついちゃいますう……」

【イリス】

irs\_0238

「はあん、んふう……ああ……お兄さんのおちんぽも、わたしの中に、んう、ぴたっぴたっ吸いついて……もう、すっかり馴染んじやってますね……」

【イリス】

irs\_0239

「ああ……ホントに、このまま、溶けて、わたしたち、一つになっちゃいます……ああん……」

【イリス】

irs\_0240

「さあ、お兄さん……いつでも、出して、いいですよ……？　大丈夫、お兄さんなら、まだまだやれます……」

【イリス】

irs\_0241

「ほら、おちんぽさんも、がんばってっ！　わたしのロリまんこでいっぱい！　スってあげますから……おちんぽさん、がんばれっ、がんばれっ！　……んうっ！」

【イリス】

irs\_0242

「んっ！　んっ！　がんばって、もっともっと！　まだいけます！　まだいけます！　お兄さんのおちんぽさんなら、やれますよ！」

【イリス】

iris\_0243

「わたしも、がんばり、ますから！ おちんぽさんも、一緒に、がんばりましよう！ ほらほら、もう一発！ んふうう！ んっ！ んっ！」

【イリス】

iris\_0244

「ほらっ、ほうら！ どうです、かあ！ んしょ、んしょ！ ほら、んっ！ ちっちゃな、おまんこ、こんなに、激しく、掻き混ぜ、てえー！」

【イリス】

iris\_0245

「んー！ んっ！ あはんっ！ ほら、おちんぽ、むくむくーって、膨らんできましたよ！ お兄さんのおちんぽさん、まだ射精できますよ！ んんっ、わたしが、言った、通りです！」

【イリス】

iris\_0246

「はんっ！ はあん！ さあ、どうぞ！ ください！ わたしのちっちゃな子宮、お兄さんの新鮮な精液で、満たしてください！ んんう、あっ、ひゃうん！」

【イリス】

iris\_0247

「あ……あああああああ！ あーっ！ あっ！ ひゃあああ！ んっ、んんっ！ 今までで一番激しい射精っ！ わたしの、中にっ！ あっ、はああああ！」

【イリス】

iris\_0248

「はあああ！ はっ、はあんっ！ わたしのちっちゃな身体、全部おまんこになっちゃう、お兄さんの精液で、満たされちゃいまひゅううう！ ああああん！」

【イリス】

iris\_0249

「おお、ああああ！ しゅごい、しゅごいよおお！ お兄さんの大人おちんぽおお！ こんにやに、こんにやに……うはああんっ！ んんんっ！ ああああああ！」

「イリス」

iris\_0250

「ああああ！ んはっ……あああ、あ、あん……はあ、はあ……お、お兄  
ひゃんの射精、す、すごかったですう……」

「イリス」

iris\_0251

「はあ……はあ……こんなにすごい射精、味わったら……もう、お兄さん  
のおちんぽから……一生離れられませんね……んんう……」

「イリス」

iris\_0252

「……あ、お兄さん、流石にお疲れですか……？ むー、しかたないです  
ね、少し、休憩しましょうか……。そのあと、また、セックス……しま  
しょうね……？」

「イリス」

iris\_0253

「あ、その前に、おやすみなさいのキス……ちゅっ、ちゅぱっ、れる……  
ふはあ……ふふ、お兄さん、おやすみなさあい……」

■ 06…失敗を慰めてくれる淫魔少女

ループ可能なボーナストラック

「イリス」

iris\_0254

「大丈夫、大丈夫……お兄さんは、なんにも悪くありませんよお……何が  
あっても、わたしはお兄さんの味方、ですからねえ……」

「イリス」

iris\_0255

「優しいお兄さん、いい子いい子……頑張ってるお兄さん、いい子いい子  
……。わたしのだーい好きなお兄さん、いい子いい子……」

「イリス」

iris\_0256

「わたしがそばにいますよ……大丈夫、大丈夫です……寂しくないですよ  
……怖くないですよ……望んでくれれば、いつでもわたしはお兄さんの  
そばにいますよ……」

「イリス」

iris\_0257

「エッチな気分になったら、いつでもわたしを呼んでください……。二人で、たくさん、たくさん、キモチよくなりましょう……?」

「イリス」

iris\_0258

「唇が溶けちゃうくらいキスしましょう……舌と唾液をとろつとろに絡めて、とろつてもエッチなキスしましょう……?」

「イリス」

iris\_0259

「おちんぼ、とろけちゃうくらいフェラしちゃいますよ……わたしのちっちゃなお口、お兄さんの美味しい精液で満たしてください……」

「イリス」

iris\_0260

「セックスだって、お兄さんの望むままです……たろつぷり、精液出して、たくさんキモチよくなって、お兄さんの頭の中、キモチいいのでいっつぱいにしちゃいましょう……」

「イリス」

iris\_0261

「身体がびったり一つになっちゃうくらい、ずろつとずろつとセックスしましょう……?」

「イリス」

iris\_0262

「好きですよ、お兄さん……大好きです。お兄さん……愛してます。ずーっとお兄さんだけを見て……お兄さんだけを愛していますからね?」

以上